

【IRリリース】

## SpiderPlus & Co.

2022年10月19日  
スパイダープラス株式会社  
(東証グロース：4192)

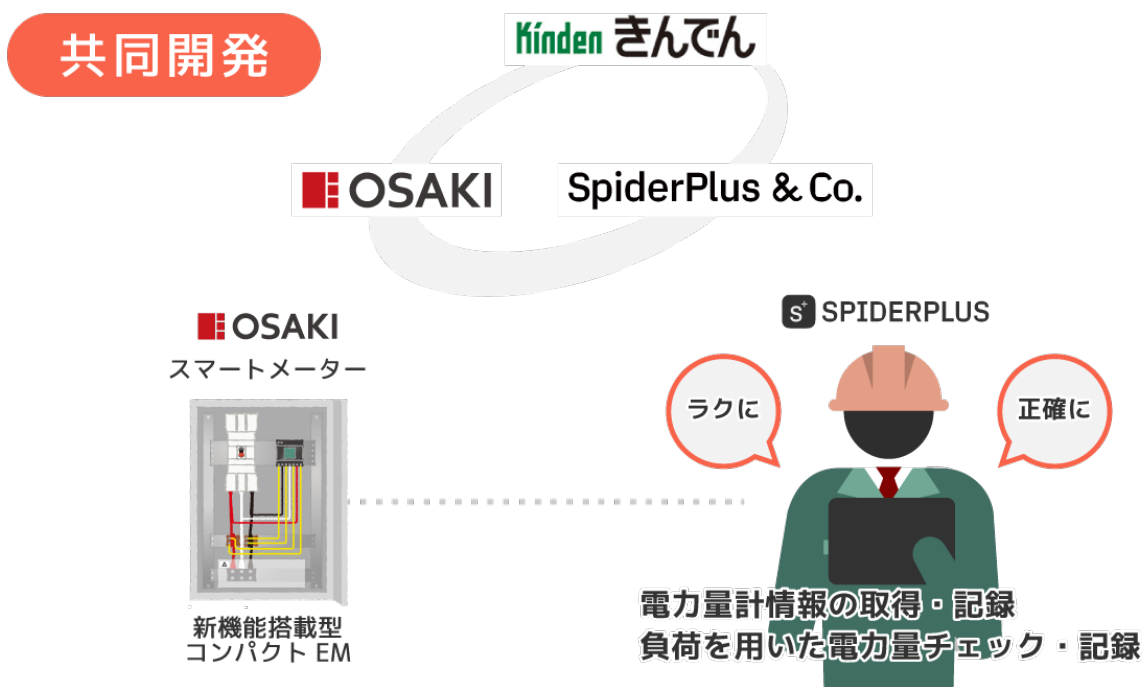
### 3社連携によりスマートメーター連携機能を共同開発

スパイダープラス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：伊藤謙自）は、株式会社きんでん（本店：大阪市北区、取締役社長：上坂隆勇、以下、「きんでん」）及び大崎電気工業株式会社（本社：東京都品川区、取締役社長 渡辺光康、以下、「大崎電気工業」）との共同開発により、電気設備工事向けスマートメーター連携機能（以下、「本機能」）を2022年10月19日にリリースしたことを発表いたします。

本機能により、建設DXサービス「SPIDERPLUS」の電気設備工事向けオプション機能が拡充されます。国内のスマートメーター市場は、電力インフラのデジタル・ネットワーク化を背景に旧来型の電力量計からスマートメーターに順次置き換わっており、建設現場での活用も含めて急速に市場が拡大しております。電力業界のメガトレンドを踏まえた本機能のリリースにより、スマートメーター市場の拡大による「SPIDERPLUS」の活用機会増加とともに、建設現場のデジタルシフト及び生産性向上をさらに推進いたします。

なお、本機能は各業界のリーディングカンパニーによる共同開発であり、当該3社による共同リリースも発表しております。共同リリース内では、3社それぞれのコメント等も記載しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

共同リリースURL：<https://spiderplus.co.jp/news/news-release/7363/>



## 1. 本機能開発の背景

当社は、建設DXサービス「SPIDERPLUS」を2011年にリリースして以来、自社開発のみならず、建設業界を代表する各企業との共同開発を行いながら、建設現場の生産性向上に貢献する様々な機能・サービスを開発してまいりました。

その事例として、電気設備工事業界向けには業界大手のきんでんと、「電力量計確認機能」や「OCR連携機能」を共同開発しております。きんでんと当社は現在も建設業界を取り巻く人手不足の問題に対して、作業員個々人のスキルや作業品質に依存しない機能の開発・改良を模索しております。

また、2021年からは電力量計スマートメーター国内トップシェアである大崎電気工業と、主に建設業界同様に高齢化などによる人手不足の課題を抱えるビル・メンテナンス業界向けとして、スマートメーター連携機能の共同開発を開始しています。

本機能は、建設業界とビル・メンテナンス業界に共通する人手不足という深刻な社会課題を解決すべく、各業界のリーディングカンパニーである3社が技術と知見を組み合わせ、より高い次元の課題解決を実現するため共同開発に至ったものです。

## 2. 本機能の特徴

電気設備工事及びそのメンテナンス業務は、現場によっては数百台から数千台を越える電力量計から10桁以上の数字を暗所で目視確認する必要があるなど、非効率かつヒューマンエラーの発生しやすい業務となっております。電力量計の情報取得は、目視で読み取り、手入力した情報の確かさを担保するために、複数人による複数回のチェックを課すことで多くの労力が必要でした。

本機能は、大崎電気工業のスマートメーターと「SPIDERPLUS」を連携させ、電力量計の電力量、製造番号、パルスレート、乗率、相線式、定格電圧、定格電流など、必要な情報を自動的に得ることができるため、目視作業やOCRよりも簡単で、遥かに精度の高い読み取りによって高品質な検査の実施が実現します。

### 【本件に関するお問合せ】

スパイダープラス株式会社 経営企画部IR担当

メール問い合わせ先：ir@spiderplus.co.jp 電話問い合わせ先：03-6709-2834

以上